

アシストスーツ エアロバック

常石商事株式会社

アシストスーツとは

- 体に装着して、人間の力、動きをサポートしてくれるもので、力が強くなるわけではない。
- 腰の負担や体の負担を軽減でき、特に腰痛予防に効果を発揮。
- 作業者の高齢化や、人手不足で悩む分野での導入や生産性向上への期待が大きい。
- 物流、製造業、土木建設、農業、介護、といった分野で特に導入が進んでいる。
- 労働環境改善、雇用確保、働き方改革等で注目。



アシストイメージ

エアロバックの紹介

～エアロバック 6つの特徴～

- ①腰への負担軽減！中腰姿勢の保持！
- ②超軽量設計。1.8kg！ ※人工筋肉ダブルタイプの場合
- ③アシストスーツ業界のなかでも低価格！
- ④長時間付けていても疲れにくい！
- ⑤装着も簡単で動作に制限なし！
- ⑥力強いアシスト能力。18kgf！
※人工筋肉ダブルタイプの場合

【アシスト力：18kgfとは？】

2.5kgの物を持った状態で中腰姿勢を10秒間キープした際に腰下部にある脊柱起立筋にかかる負担が1.8kg相当減ったという意味

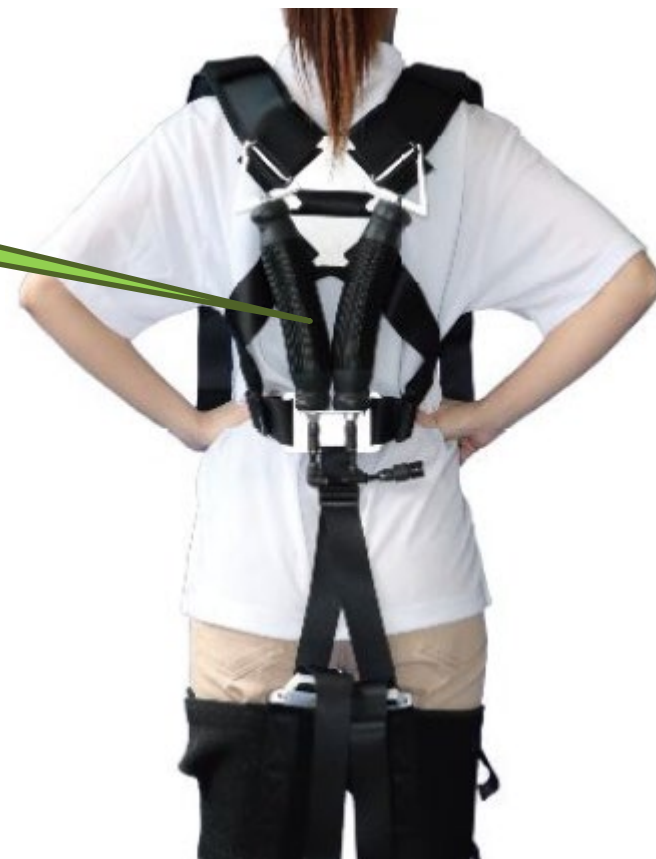


脊柱起立筋



動力について

空気力でアシスト
～ 人工筋肉 ～



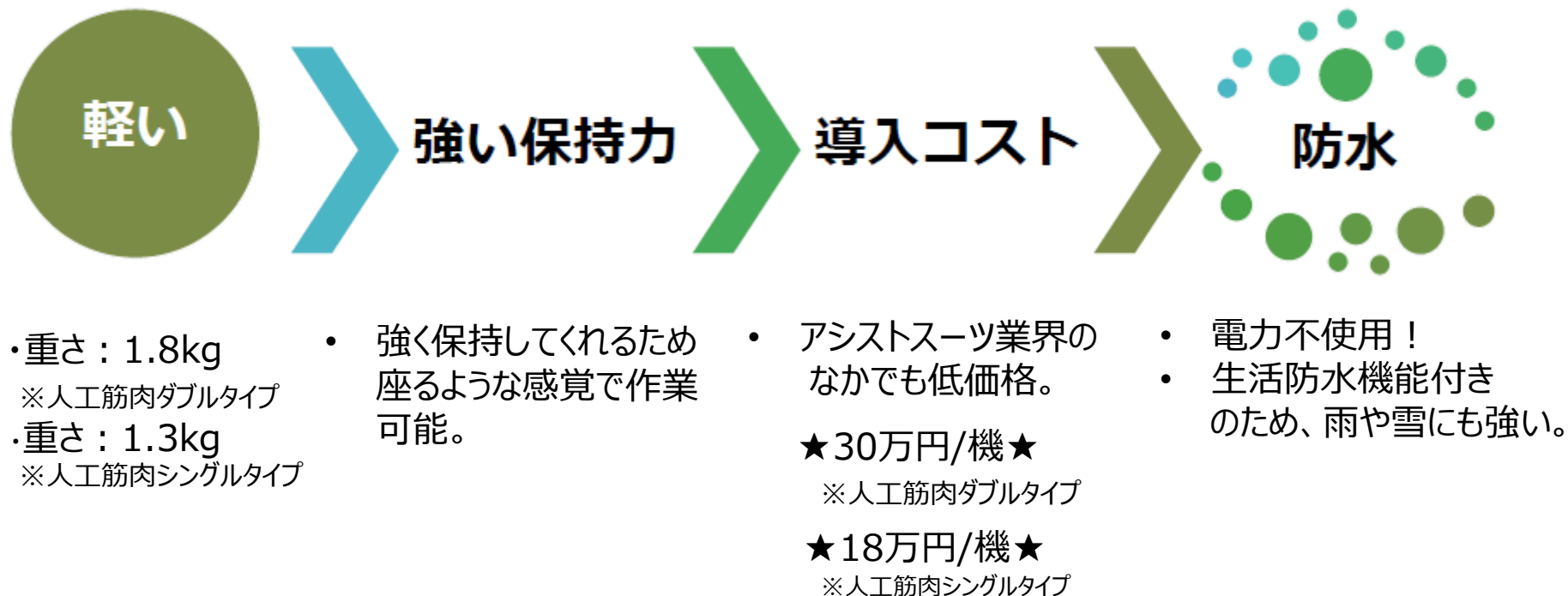
★動力は空気圧

背中的人工筋肉に空気圧を注入することで
持ち上げる力をアシスト、中腰姿勢の保持

★バッテリーは使用しない

生活防水機能も搭載し、雨の日の作業、
水際での作業など、水濡れの恐れのある
あらゆる場面で活躍！

エアロバックの4大特徴



導入後の3つのメリット

①社員の腰痛予防・休業の減少

腰痛は40～50歳代に発症が多い

- 原因は若い頃から蓄積された腰への負担が原因でなっていると言われている。
- 腰への負担を軽減することで腰痛を予防し、少しでも**長く現役で働けるように**アシストする装置です。

②生産性の向上

- 体の動きを補助することで、重量物の持ち上げ、中腰での身体への負荷を減らし、就業時間中の身体への疲労を軽減することで、生産性向上につながる。

②働き方改革の促進

- 作業員への負担軽減によって職場環境が改善することで、離職率を抑えられ、職場復帰を促すなど、安定した人材確保に役立つ事が期待できます。このような労働環境を整備する「働き方改革」の有力な解決策となります。

助成金の活用

- アシストスーツ購入に対して、各自治体、厚生労働省等で助成金を活用ができる場合があります。

- 助成金の一例（2020年1月現在）

- 時間外労働等改善助成金（勤務間インターバル導入コース） 厚生労働省

働き方改革の一環で、勤務間を1 1時間以上開けることが推奨されています。下記文言を就業規則に加え、実行する事が条件で、助成金も高く購入の8割、最高50万円まで支給されます。

事業主が事業実施計画において指定したすべての事業場において、休息时间数が「9時間以上11時間未満」または「11時間以上」の勤務間インターバルを導入すること。

就業規則改定に関わる司法書士の手数料も助成金の対象となります。
エアロバック導入をきっかけに、労働環境の見直しもしてみたいはいかがでしょうか？

助成金の活用した場合の費用一例

エアロバック2機60万円（※人工筋肉ダブルタイプ）と就業規則変更の司法書士の手数料約10万円を使用し、合計70万円の場合



製品仕様

開発者 : 法政大学教授 石井 千春

製造者 : 株式会社サステクノ

販売元 : 株式会社ニッカリ



人工筋肉ダブルタイプ^o

販売価格 : 30万円 (税別)
本体重量 : 1.4 kg
組付け後重量 : 約 1.8 kg
動力 : 空気圧式人工筋肉
アシスト力 : 1.8 Kgf
防水性 : 生活防水
サイズ : フリーサイズ
(身長制限なし)



人工筋肉シングルタイプ^o

販売価格 : 18万円 (税別)
本体重量 : 0.9 kg
組付け後重量 : 1.3 kg
動力 : 空気圧式人工筋肉
アシスト力 : 1.2 Kgf
防水性 : 生活防水
サイズ : フリーサイズ
(身長制限なし)



TSUNEISHI